

全ての質疑を動画で視聴できます

箕面市議会 検索 動画の内容は公式記録ではありません。



～このような質疑を行いました～

本会議から各常任委員会に付託された議案などについて、慎重に審査しました。市に対する主な質疑をお知らせします。

文教常任委員会

条例1件、予算1件、その他1件について審査しました。

ひがし幼稚園民営化に伴う運営法人への財産無償譲渡の件について

- 問 民営化決定時に生じた課題とその解決方法は。
- 答 東部地域における3歳児以上の待機児童対策として民営化を判断したが、保護者から運営法人が不明なままの入園は不安が大きいなど多くの声があり、何度も対話を重ね、民営化を予定から1年延長した平成28年度とし、理解と協力をいただけた。
- 問 運営法人への引き継ぎの進め方は。
- 答 保育所民営化の経験を生かし、2カ年かけて丁寧な引き継ぎを行っている。制服の取り扱いやPTA活動などの検討事項については、法人、保護者、市の三者懇談会で話し合い、平成28年1月からは、現・新担任教諭の合同保育による引き継ぎを行う。



第四中学校での体罰事案について

- 問 体罰に対する教育委員会の考えは。
- 答 子どもの正常な倫理観の育成を阻み、問題を力で解決する思考を助長させる体罰は絶対許されない。
- 問 当事案で動揺したり不安を抱いた生徒への対応は。
- 答 担任や養護教諭が見守りや声かけをし、スクールカウンセラーにつなぐなど丁寧に対応している。

西南公民館の建て替えについて

- 問 建て替えに際し、移設案と現地案の二つのプランが示されているが、市民の反応と今後の進め方は。
- 答 施設利用者は、工事中の活動に影響を受けるため、移設案を希望しているが、移設によって生活に影響を受ける近隣住民は、現地案を望んでいる。今後、更に幅広く意見を聞き、早期に判断したい。

民生常任委員会

条例1件、予算4件について審査しました。

個人番号カード等交付事業(臨時)について

- 問 顔認証システムの使用方法は。
- 答 カード交付時に貼付の顔写真を読み込ませ、受取人をカメラで撮影して同一性を確認する。
- 問 セキュリティ対策はどのようにするのか。
- 答 インターネットに接続しない機器を導入し、画像はこのシステム以外に使用せず、保存もしない。
- 問 対応する職員の体制は。
- 答 外部委託などは行わず、市職員で対応する。



顔認証システムによる本人確認の様子

生活保護事業における医療扶助費について

- 問 医療機関の受診明細は受給者に発行されるのか。
- 答 自己負担額が発生しないため、発行しない場合もあるが、市立病院は診療点数の記載がある請求書兼領収書を発行している。
- 問 受給者の基本健診受診数が少ないのはなぜか。
- 答 何らかの疾患で、医療機関を受診し必要な検査を受けているため受診に消極的であると思われる。
- 問 健診の受診を勧奨する方法はないのか。
- 答 担当ケースワーカーが市の保健師や保健所と連携しながら対応している。

5S※活動の推進について

- 問 現在の実施状況と今後の方向性は。
- 答 クリーンアップオフィスと名付けて、職員研修も実施しながら全庁一丸となって整理整頓に取り組んでいる。今後も、市民の目にどう映るかを最優先で考えながら取り組みを進めていきたい。

※5S…整理・整頓・清掃・清潔・しつけのこと。

建設水道常任委員会

条例3件、予算1件、その他1件について審査しました。

箕面市下水道条例改正の件について

- 問 下水道使用料の値下げに至った背景と今後の財政見通しは。
- 答 今後20年間で想定される老朽管路更新などの必要経費と、下水道使用料の収支見通しを精査した結果、黒字を維持できる見込みとなり、値下げを行うが、今後も、財政収支の検証と点検をしっかりと行って、企業努力を重ねていきたい。

住宅・建築物耐震改修促進事業について

- 問 耐震診断に対する補助内容は。
- 答 全額補助するので、無料で受診できる。
- 問 耐震診断の件数増加に向けた啓発活動は。
- 答 従来のPRチラシや出前講座などでは件数が伸びなかったため、対象建物の所有者に対してダイレクトメールを年度末までに3回に分けて発送予定。
- 問 年度末までの発送では診断の大半が来年度にずれこむことになる。阪神・淡路大震災での死亡原因1位が圧死であることから、本事業の目的を考えるともっと迅速に対応してもらいたいが、見解は。
- 答 今回は発送対象者の特定に時間を要したため発送が遅くなったが、今後は待機なしで診断につなげられるように努めていきたい。
- 問 耐震診断で終わるのではなく、行政は耐震改修につなげるよう取り組む必要があるのでは。
- 答 耐震改修まで至らなくても、耐震診断によって現状を知ることだけでも、自分の身を守るという意味で大事と考えており、まずは耐震診断数を増やし、最終的には耐震改修に向けた支援措置の拡充をめざしたい。



阪神・淡路大震災による家屋倒壊の様子

総務常任委員会

条例5件、予算1件、その他1件について審査しました。

箕面市個人情報保護条例改正の件について

- 問 本改正の概要は。
- 答 生活困窮などの市民の情報を関係部局で共有するための改正で、最初に相談を受けた部署が連携システムに内容と連携が必要な部署を入力することで、即、対象部署と情報共有ができることとなる。
- 問 現行条例でも他部署との連携が可能と思われるが、本改正をする真意は。
- 答 条例改正が適切とした個人情報保護制度運営審議会からの答申をもとに、しっかりと支援を行う市の姿勢をより明確に示すためにも条例改正を行う。
- 問 相談に来られない生活困窮者に対し、事前に情報を共有し、支援することは想定しているのか。
- 答 生活困窮など内容によっては、何らかのサポートは必要と認識しているが、まずは、受けた相談の情報を共有し、しっかりと対応していく。
- 問 委託団体が関わる相談についての情報共有は。
- 答 委託団体が行う業務でも市の業務であり、迅速に対応するため、委託団体もシステムを利用する形で準備を進めている。なお、職員と同様にアクセス状況が分かるシステムとなっている。

マイナンバー制度運用における中間サーバーの管理運営について

- 問 ほかの自治体と情報連携を行うための中間サーバーのセキュリティ対策は。
- 答 中間サーバーには暗号化した副本を設置することで、障害が発生しても、既存の業務システムへの影響を遮断できる形のセキュリティ対策がされている。



マイナンバーキャラクター マイナちゃん